



## ★勉強の仕方がわからない？



教師をしていると勉強の仕方がわからない。何をしたいのかわからない。

と言っている声を耳にすることがあります。過去の新聞記事でよいのがありましたので紹介します。

以下網掛け部分は当時白保中学校の教頭だった崎原恒新先生の言葉。

『「うちの子は勉強の仕方がわからないといっていますが」と声かけられます。私はいつも「それは嘘をついているだけです」と厳しい返事をしています。漢字が読めなければ辞典を引いて読み方を調べていますか？漢字が書けなければ何度も書いて覚えていますか？社会科に出てくる地名を地図で確かめていますか？本を読んで意味が分からない場合、くりかえし、くりかえし、何度も読んだ上でわからないと言っているのですか？親に言われなくても学校から帰ってきて机に向かい今日習ったことを確かめたり、前もって1~2ページでも読んだりしていますか？等々聞いてみるとわが子が中学生としてよく知っている学習方法についてさえ実は何もしていないことを痛感することになるのです。』

『勉強するうえで最も大切なことは、よくわかっているものと、よくわからないものをはっきりさせることです。』

結構、厳しいことが書かれていますが、本質をとらえていると思います。

わからないからやらないと逃げてはいませんか？

わからないことを一生懸命考えるだけでいいのです。それがいつかつながります。



### ★予習と復習について

この進路通信を読んで、じゃあどうすれば？と思った人はぜひ今日の授業を振り返り、得意な教科、好きな教科からでいいので、復習をしてみましょう。勉強にとって大切なことは「くりかえすこと」です。くりかえせばそれだけ記憶に残る率が高いわけです。記憶には大きく分けて短期記憶と長期記憶があります。短期記憶は数秒から数日で消えてしまいが、長期的記憶は数年〜一生残るといわれています。一生とまではいなくても数年ぐらいは残るようにしたいですね。そのために短期記憶を長期記憶にする方法として、手っ取り早いのは復習することです。記憶にまつわる場所は脳の中にある海馬です。「海馬に何らかの働きかけをすれば、効率よく記憶できる」復習することがそれにあたります。海馬に同じ情報を繰り返し送れば、(最初は捨てられてもそのうち)海馬がその情報を「大事な情報である」と認識し、長期記憶にする…というメカニズムになっていますが、難しい話は置いて。たとえば、繰り返し(無意味な文字列からなる)パスワードを入力していると、そのうちその意味のない文字列を「記憶する」ということになる。無意味な文字列を覚えることはむずかしいが、できる。それは、日々パスワードを入力する、ということが復習になっているためです。ここまで、一生懸命読んでくれた皆さん。ありがとう。ぜひ今日習ったことを 自主学习ノートにまとめ、また、必要ならば本からメモ、あるいはコピーを取る。覚えるべきものは覚え、確認することは確認する。そういう地道な努力を重ねて、記憶を長期記憶にしてほしいと思います。もちろん、今日は疲れていて無理!という日もあると思います。そういう時はベッドに入って天井を見つめながら、今日の授業を1校時から帰るまで何をしたか?どんな授業だったのかを思い出す、振り返るだけでも良いのです。何もしないよりはるかに良いはず。難しいことはありません。自分のできそうな教科、挑戦しやすい教科から取り組み徐々に得意教科を増やしていきましょう。やればできる!

